

## 2018 年度レフェリー塾のご案内

1. 目的： 関西協会および関西各府県協会所属の意欲ある審判員に対して、自主的な研修・研鑽の場を提供し、審判技術の向上、知識の充実、モチベーションの増強をはかる。
2. 参加資格： 関西協会および関西各府県協会 所属審判員 ならびに インストラクター
3. 日程： 2018年5月～2019年3月（8月を除く）、全10回  
各月の第4木曜日 19:00～21:00（5月は第5木曜日）  
5/31, 6/28, 7/26, 9/27, 10/25（以上決定） 11/22, 12/27, 1/24, 2/28, 3/28（予定）
4. 会場： （大阪市内・毎回参加者にメール等で通知）  
**第3回 7/26（木）の会場**  
  
大阪市中央区久太郎町 1-2-27  
☎ 06-6267-0201  
地下鉄堺筋線・中央線 堺筋本町駅 3号出口東へ2分
5. 参加料： 通年2,000円 ※ユース審判員は1,000円  
（初回参加時に徴収させていただきます）
6. 講師： （一社）関西サッカー協会審判委員会育成部長 大歳  
ほか 1級審判員、各級インストラクター、各界有識者など
7. 追加申込： 途中からの参加も可能。（参加料は通年と同じ）
8. 申し込み方法： 以下の各項目を明記の上、担当大歳まで事前申し込みをして下さい。  
①氏名 ②所属府県 ③審判資格（級） ④メールアドレス ⑤携帯電話番号  
追加申込・その他 レフェリー塾に関するお問い合わせ 担当；大歳 ohtoshi@r3.dion.ne.jp



以上

### 第2回 6/28は こんなことをしました。 テーマは「ペナルティーマークからのキック」

6月28日といえばあの天皇杯2回戦のペナルティーマークからのキック やり直しが行われた日です。わたしたち審判にとってはとてもショッキングな出来事でした。他人ごとではない。そんな危機感をもってこのテーマを選びました。

用意された質問にグループで調べたり、考えたり。それを発表してさらにつっこみが入ったり。たくさん用意された質問の多くは宿題ということになってしまいましたが・・・。

最初の質問は「ペナルティーマークからのキック」は 競技規則のどこに書かれている？ この質問に、「確か 後ろのほう。条文の後…」なんてつい口が滑った人は、いつから競技規則を見てないの！ ということになります。

Q. どちらのチームが先にける？ Q. キックするゴールはどのようにして決める？ Q. キッカーの順番は途中で変えてもいい？ Q. ゴールキーパーは真ん中に立たなくてもいい？ Q. Aチームが4人目までけて3人成功 Bチームは3人終わったところで全員失敗。Bチームの4人目はけらせる？

ペナルティーマークからのキックをきちんと理解するためには、競技時間中のペナルティーキックもしっかり理解していなければなりませんよね。Q. キックをする資格があるのはだれ？ Q. 資格のある人の人数がちがっていたら？ Q. キックの途中 負傷や退場で資格のある人の人数がちがいがでたら？ Q. キックの進行中競技者 審判員はどこにいなければならない？ Q. キックはどの時点で終了する？ 競技規則の他に「Q&A」や通達などが出ています。競技規則が修正されていく段階でつじつまが合わなくなってしまうものもあるようですね。なぜ人数を同じにするのか？ 基本的な考え方は、「公平」ということですね。だからと言ってひとりひとりの勝手な「公平」の概念でルールを作ってしまうのは認められません。